



巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 竹内 綱太郎



巻頭の辞を執筆する竹内司令

めたばる

発行

自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



ツイッター



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

「フォロー」
「いいね」
お願いします。

駐屯地ツイッターやってます。
目達原駐屯地隊員の訓練・
行事・災害派遣情報など、
続々ツイート中！
是非ご覧下さい。

ホームページ



駐屯各部隊

新年度から全速力



着陸訓練(戦闘ヘリ)



衛生科との共同訓練(西ヘリ)



至近距離射撃(4飛)



AH-64D分隊射撃(戦闘ヘリ)



12.7mm重機関銃対空射撃(西後支)



武装走競技会(西後支)



不発弾処理隊検閲250キロ爆弾弾頭切断(西後支)



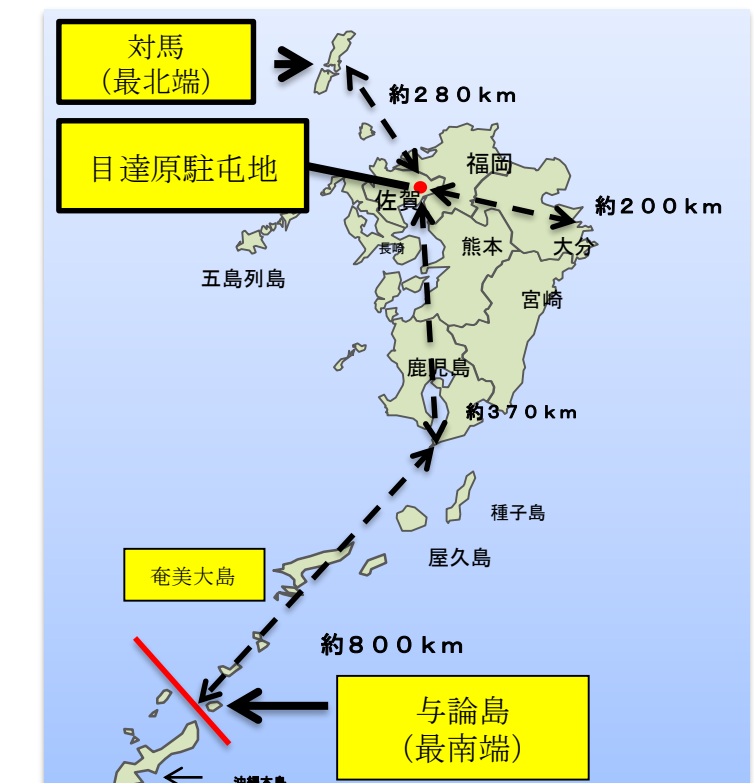
車両回収(西後支)



UH-1J着陸誘導(西ヘリ)



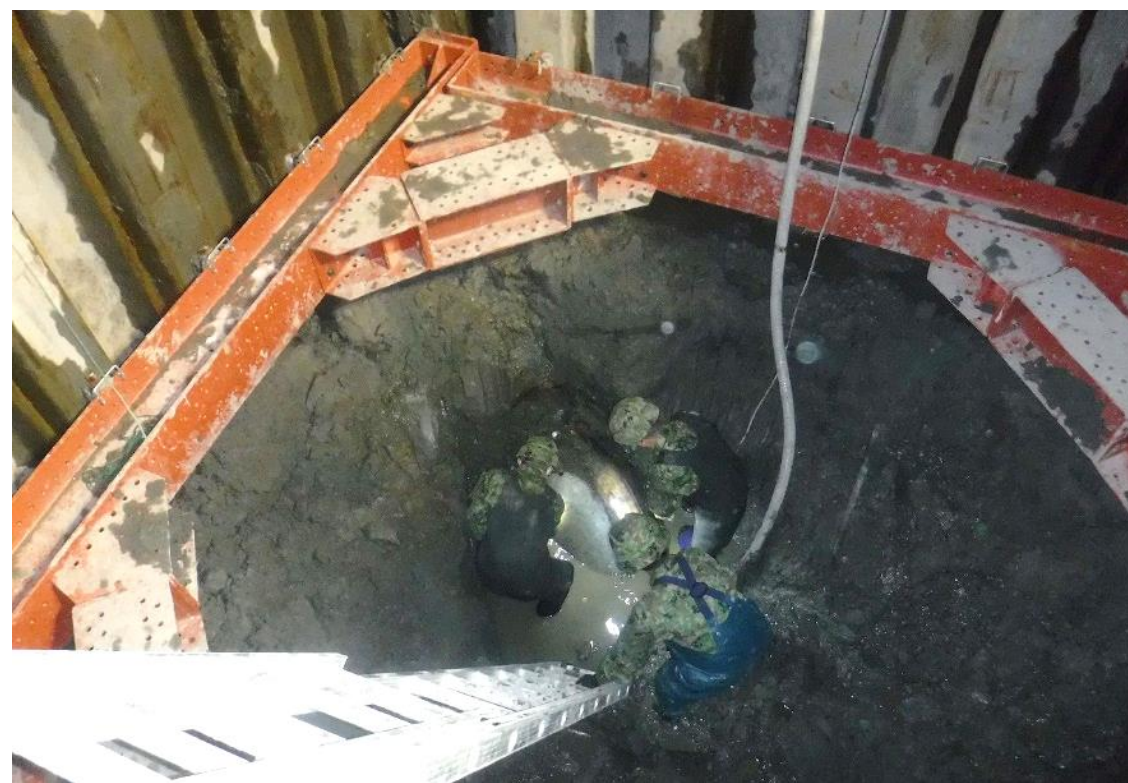
警戒監視(4飛)



九州7県担任地域



宮崎空港米国製1t弾薬の運搬



宮崎空港米国製1t爆弾信管の確認

発見から処理までの流れ



西部方面後方支援隊第104不発弾処理隊は少数の精鋭部隊です。任務は、沖縄県を除く九州7県の不発弾の処理を担任しています。今年度4月から6月約3カ月で既に、処理件数31件、総弾薬数114発を処理しています。

上記写真は、6月5日宮崎空港における米国製1t爆弾の回収作業の一部です。宮崎県警からの要請を受けた、畑内1尉以下4名は緊急出動し、爆弾の識別を実施、信管がないことを確認後、回収を行い、大分弾薬支処に保管しました。出動した隊員は「現場では安全距離の確保、更にコロナ感染防止のためのマスクにより肉声が聞きとりづらい状況だったので、仲間とは日頃から意思疎通を図れていました。」「と述べました。

引き続き、第104不発弾処理隊は、安全確実に第一に民生の安定に寄与していきます。

九州補給処

近隣市町防災パトロールによる災害対処能力の向上
防災関係各機関と情報共有

九州補給処は、5月18日、25日、31日のそれぞれの日に、おいて、上峰町、基山町、吉



危険河川の確認(基山町)

野ヶ里町が主催する令和3年度防災パトロールに参加しました。各町の防災担当者から、過去の災害状況や対策についての説明を受け、危険箇所について警察、消防とともに現地を確認し、各関係機関と情報共有を図り、災害発生時の対応を再確認することが出来ました。パトロールに参加した隊員は「駐屯地近隣における災害危険区域の地形や特性を把握し災害見積に活かすとともに、各関係機関との連携をより一層強化して、これから風水害の多発期にしっかりと備えていきます。」と述べています。

鳥栖燃料支処

不測事態に備え
油流出対処訓練

鳥栖燃料支処は、6月10日、目達原駐屯地のプールを利用して、油流出対処訓練を実施しました。

本訓練は、河川等に大量の油が流出した場面を想定し、駐屯地プールを河川と見立て、



胴付き長靴の着用教育



オイルフェンスの展張



吸着マットを利用した処理

オイルフェンスの設置と吸着マットによる油の除去について訓練しました。前段はオイルフェンス等、対処器材の性能と取扱要領を確認し、ロープの結び方・流水の渡河要領等、一つの動作について確認しました。後段は、4人1組で胴付き長靴を着用して、プールでオイルフェンスと吸着マットの設置要領を訓練しました。組長として訓練に参加した里3曹は、若手陸曹らしく澁刺と指揮、「迅速・確実、安全に組員を行動させる事が出来、不測事態時にも任務完遂できる自信が持てた。」と力強く話しました。隊員達は真剣に取り組む、大雨や地震等の災害発生時における不測事態対処能力を日々向上していきます。



人命救助システム2型の器材点検を実施する初動対処部隊

編成し、車両及び無線機の点検、人命救助システムの器材取扱い訓練を実施し、あらゆる災害等に対して、迅速に対応できるように即応態勢を維持しています。

西部方面後方支援隊

勝利に向かって激走
隊武装走競技会(十文字)

スタート直後から下り坂を激走



「頼んだぞっ!」次走者への櫓渡し

激走間の至近距離射撃



西部方面後方支援隊は、令和3年4月18日十文字原演習場において、令和3年度隊武装走競技会を実施しました。当競技会は、5名1コチーム(女性自衛官1名含む。)至近距離射撃を含めた駅伝方式によるチーム対抗戦とし、いかなる脅威下においても間断なく兵站支援業務を継続できる強靱な部隊・隊員を育成するため各隊における戦術戦技能力の向上を図るとともに、士気の高揚及び部隊の団結の強化を図りました。

また、競技会開催にあたり勤務員による勤務員予行及び至近距離射撃予行及び試走を実施し、新型コロナウイルス感染対策として、応援方法や実施要領等の工夫を行い準備に万全を期しました。

方面隊優秀隊員招待行事

令和3年6月25日、西部方面総監部において、令和2年度方面隊優秀隊員招待行事が行われ、第104不発弾処理隊 倉員 武志2等陸曹が不発弾処理業務の功績により方面総監より顕彰盾を授与されました。



方面総監竹本陸将と倉員2曹夫妻

「演習場Ⅱ道場」

機能維持と充実を図る
日出生台演習場定期整備

重機を使用した側溝整備

令和3年4月5日から18日までの間、九州唯一の大演習場である日出生台演習場(大分県)において令和3年度日出生台演習場第1次定期整備を実施しました。西部方面後方支援隊は、西後支援整備隊を編成し、演習場の長期安定使用のための草刈りや側溝整備、補修整備等を実施し、また同行支援により各装備品等の整備・回収支援を実施し訓練環境の向上に寄与しました。

第1戦闘ヘリコプター隊

射撃能力向上 佐多AH射撃訓練

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和3年5月30日から6月3日までの間、鹿児島県に所在する佐多射撃場においてヘリコプター射撃訓練を実施しました。梅雨時期でしたが実施間は天候にも恵まれ、AH-64D操縦士の洋上固定目標に対するヘリコプター射撃能力及び整備員の弾薬取り扱い並びに射撃支援能力を向上しました。



30mmGUNの弾薬点検



ASR70mmロケットの弾薬搭載



30mmGUN分隊射撃



ASR70mmロケット発射の貴重な瞬間

西部方面ヘリコプター隊

即応態勢の強化 通信事業者4社と共同訓練

西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊は、令和3年4月20日及び21日の2日間、通信事業者との共同訓練を実施しました。NTT西日本、NTTドコモ、ソフトバンク及びKDDIの4社が訓練に参加し、綿密な調整による認識の統一及び確実な安全管理の下、第2飛行隊が保有するヘリコプター「UH-1J」にて、相互に連携して通信器材等の搭載・卸下を実施しました。航空機への搭載要領によつては、機体を損傷させる恐れがある中で、本訓練を互いに連携して無事に終了させることも、今後の教訓を得ることができました。令和2年7月に発生した豪雨災害において、通信事業者及び通信器材の空輸を行い、被災地域の復興支援を実施した成果も踏まえ、引き続き、ヘリコプター隊一丸となり、災害発生時等における即応能力の向上及び任務完遂に邁進していきます。



通信事業者と共同による却下訓練



器材の搭載要領を確認

第4飛行隊

戦闘力の最大限発揮 第1次師団訓練検閲

第4飛行隊は、令和3年6月18日、29日までの間、目達原駐屯地及び十文字原演習場において、令和3年度第1次師団訓練検閲を受閲しました。本検閲では、非常呼集から状況開始となり応急出動準備、展開地へ向けての接敵機動、警戒自衛戦闘、航空偵察、地雷散布及び至近距離評価射撃等を実施し、飛行隊長 前淵2佐を核心に飛行隊一丸となり、1件の航空不安全事故なく日々の訓練成果を最大限に発揮して任務を完遂しました。引き続き、飛行隊長要望事項である「戦闘力の最大限発揮」に努め、日々の訓練に精進していきます。



作戦会議（飛行隊指揮所）



陣地変換のため離陸するUH-1J

第321基地通信中隊

通信のプロ

駐屯地の基盤支える

第102基地システム通信大隊第321基地通信中隊は、令和3年5月19日から5月21日の間、第2回中隊訓練を行いました。本訓練では、通信科隊員として必要な、専用LANケーブルの構成、衛星通信を使用したシステムの延伸要領、緊急時の回線構成及び障害発生時の対処要領について演練しそれぞれの特技練度を向上させました。



システム換装に伴うLANケーブル構成



緊急回線構成訓練

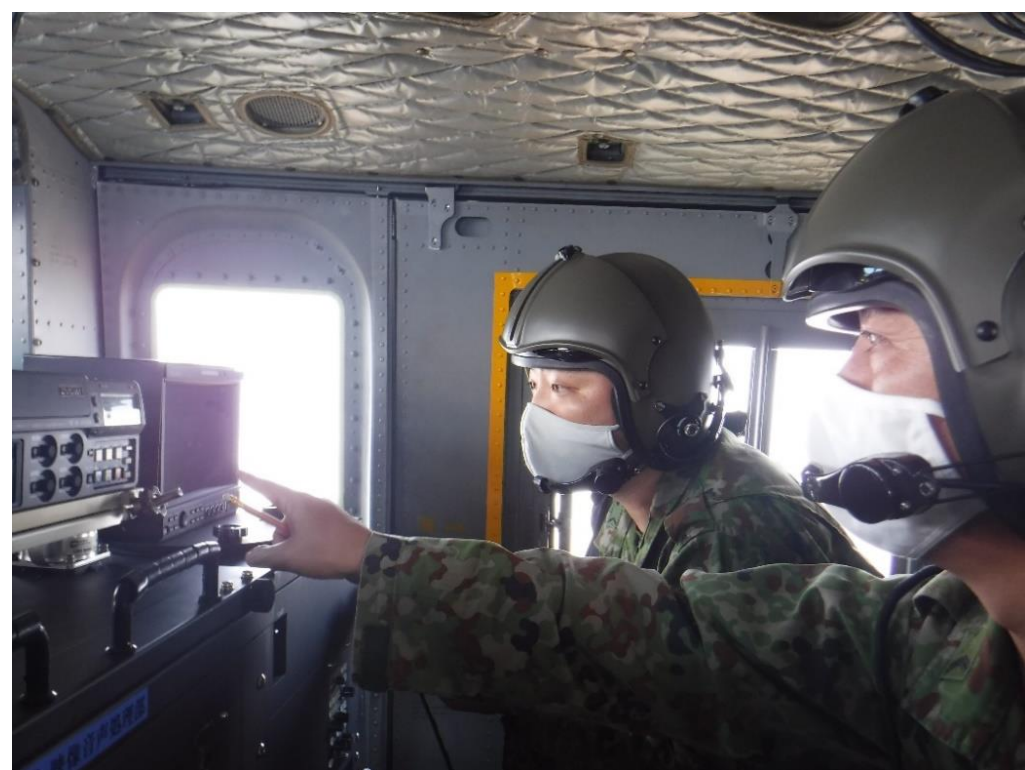
西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊空中伝送班

豪雨災害を想定
即動基盤の確立図る

空中伝送班は、即応部隊の一部隊として日頃からあらゆる事態に即応出来るように訓練しています。6月に九州が梅雨に入り、近年多発している豪雨災害の発生を危惧しています。そこで、訓練は豪雨災害を想定した状況下で実施し隊員一人一人のスキルアップを図っています。4月に迎えた2名の転入者も訓練を通じて戦力化を終えました。引き続き任務完遂に向け映像伝送能力の向上に努めます。



映像伝送機を積載したUH-1J



訓練中の機内状況

インタビュー

只今、前進中。
若人奮闘記

中西 龍之介

（なかにし りゅうのすけ）
所属
―西部方面ヘリコプター隊―
職種
―航空科―
役職
―航空操縦士―

令和3年3月14日付で3等陸尉に任官し幹部自衛官としての活躍が期待されている。特技は絵を描くこと、特に油絵。趣味は「ゴルフ・ドライブ・料理」という魅力の尽きない若手幹部熊本県出身

確かな技術と判断力で部隊をけん引する

―幹部自衛官を目指した理由を教えてください。―
「少しでも多くの隊員や大きな部隊を先導していきたくと思ったからです。」
―今の職務の内容を詳しく教えてください。―
「航空操縦士です。上空を飛行する航空機を操作し、安全確実に任務を達成するという重要な任務であります。私の小さな体で大きな航空機を自在に操作することにやりがいを感じています。」
―今後の抱負を教えてください。―
「部隊の骨幹であるということを自覚し、航空操縦士として、初級幹部として、常に問題意識をもって積極的に日々の訓練に励んでいきます。」



「多様な任務に柔軟に対応できる操縦士になりたい。」と話す中西3尉



入念に飛行前点検をする中西3尉

西部方面管制気象隊第1派遣隊

飛行部隊を支える

第1回航空隊統一訓練任務達成

西部方面管制気象隊第1派遣隊は、令和3年6月18日から22日までの間、令和3年度第1回航空隊統一訓練に参加し、先発隊及び地上部隊本隊として展開地の安全化を図り、野外における管制気象支援を実施し、航空隊の任務達成に寄与しました。



飛行統制



気象観測

ゴルフ



ナイスショットの荒木3曹



荒木 智成 3曹
西シ通群本中隊
映像写真小隊空中伝送班

MYBoom

隊員趣味紹介
マイブーム

私の趣味はゴルフです。4年前に職場の先輩に誘われて始めました。今では休みの日に先輩とコースを回って楽しんでいます。ゴルフは日頃の業務を忘れてリフレッシュするのとが出来る最高のスポーツです。これから趣味を充実させて訓練に集中できるように頑張っていきます。



将来有望なナイスガイ

アクセス
鳥栖方向から県R31号を神埼方面へ、神埼・飯町交差点を右折し、県R21へ進む、仁比山神社前バス停を過ぎ、200m先の山王橋を渡り、400m直進し右手に登山口となる、八天神社がある。神社駐車場は無料ですが、数台しか止められないので、おすすめは近くの仁比山公園、駐車可能・無料。



佐賀平野が一望（親不孝石375m地点）



小学生も登れます（花崗岩の登山道）

知っとんね

駐屯地周辺スポット紹介



神埼市にある土器山（かわらけやま）別名（八天山）を紹介いたします。土器山は肥前を代表する霊峰であり、山頂の最高標高は429メートル、初心者でも挑戦しやすい高さです。山道のほとんどが風化した花崗岩の岩盤を掘削して作られ、滑りやすいため、溝のある靴をお勧めします。道中は狭い山道やロープを利用した箇所もあり、軽易なクライミング感覚を楽しみつつ汗をかきながら約1時間程で山頂につきます。天気が良ければ眼下に佐賀平野と脊振山系の絶景を一望できます。下りは、登りと同じ道を下れば安全に下山出来ます。ゆっくり登れば、楽しいハイキング・走って登ればトレイルランとして最適な山です。ご家族や友人と挑戦してみたい方が多いでしょうか。

定年退官者及び予定者

▽	▽	▽	▽	▽	▽
14日	10日	9日	9日	19日	3日
日	日	日	日	日	日
西後支	九後支	西後支	九後支	九後支	九後支
准尉	曹長	曹長	曹長	2佐	1尉
天野一成	堀敏弘	大家健司	山下一夫	原口文哉	持丸勇次
					前田賢次
					馬場一徳